

別紙

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 東洋シート

(2) 事業所の所在地

〒736-0002 広島県安芸郡海田町国信1-6-25

(3) 業種

自動車部品付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度を基準年度とし、令和元年度から令和5年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成30年度	平成5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
エネルギー 起源CO ₂			()	()	()	()	()
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 実排出量総計							
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産台数 (千台)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成30年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
エネルギー 起源CO ₂	12.84	12.20 5.0	12.05 6.2				
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	4.925	4.678 5.0	4,946 ▲0.4				

実績に対する 自己評価	省エネ法原単位は悪化（理由：新車種立上げによる生産外でのエネルギー使用が多かった）。中国電力の排出係数が下がっただけで評価できる部分はない。
----------------	--

※ 削減率(c) = $((b) - (a)) / (a) \times 100$ 削減量の対基準年度比(e) = $((a) - (d)) / (a) \times 100$

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	燃料使用量を0.5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気圧の適正管理 ・小型・電気ボイラー化による配管ロス削減
2	電気使用量の削減	電気使用量を3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ照明機器への更新(水銀灯、蛍光灯をLED化、間引き) ・インバーター機器の導入(エアコンプレッサ、コンベアインバーター化) ・高効率機器の導入(エアコンプレッサ) ・圧縮エア配管の適正設置 ・低損失受電トランスの採用
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。